

令和5年7月12日

東松島市議会議長 小野 恵章 様

(会派名) 自民党新清風会

代表者氏名 齋藤 徹

会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目(該当を○で囲む)

調査研究費、**研修費**、広報費、広聴費、要望・陳情活動費、会議費

2 活動名称: 自民党新清風会研修

3 実施期日: 令和5年7月2日～令和5年7月5日

4 実施者: 自民党新清風会1名
井出 方明

5 活動成果: 全国市町村国際文化研修所において「市町村議会議員研修[3日間コース]」を受講し知見を深めることができた。
詳細は別紙、報告書のとおり。

6 添付書類: 別紙「報告書」



報告書

実施日：令和 5 年 7 月 2 日（日）～同年 7 月 5 日（水）

場所：全国市町村国際文化研修所
滋賀県大津市唐崎二丁目 13-1

講師及び講義概要：

1 「将来の社会保障の姿を考える」

一般社団法人未来研究所臥龍 代表理事

兵庫県立大学大学院社会科学科 特任教授 香取 照幸 氏

我が国が直面している人口問題、地域の現状や課題を明らかにし、持続可能な社会保障政策の実現に向けた、自治体の役割について厚生省勤務の経験を通じて細部にわたり講義された。

2 「コロナ禍で顕在化した若者の孤独・孤立」

特定非営利活動法人あなたのいばしょ 理事長 大空 幸星 氏

自分の経験に基づき孤独・孤立した若者を救うため大学時代から企業して 24 歳の若さで「こども家庭庁こども家庭審議会こどもの居場所部会委員」等を勤めている。その講義は力強い話しであった。

少子高齢化や核家族化、未婚の増加が進むことにより、単独世帯が増加し社会的孤立が今後も増加していくと推計されている中で、新型コロナウイルス感染症が蔓延することにより特に顕在化した若者の孤独・孤立について、今後自治体としてどのように支援していくべきかについて講義された。

3 「介護保険と地域包括ケアにおける市町村の役割」

株式会社ニッセイ基礎研究所 主任研究員 三原 岳 氏

要介護リスクをカバーする仕組みとして生まれた介護保険制度について 20 年に及ぶ歴史と現状、課題等について講義された。特に介護保険が「地方分権の試金石」と呼ばれた点、今も「地域包括ケア」が論じられる中で地域の自主性が求められる点について、行政や住民、専門職、民間企業が連携する事例を交えつつ、市町村や市町村議員の役割を講義された。

4 「子ども虐待への対応」

山梨県立大学人間福祉学部 特任教授 西澤 哲 氏

子ども虐待の社会的背景やその実態、また関係機関の連携のあり方や虐待から子どもたちを守るために求められる支援策等について、事例を交えながら講義された。

5 「生活困窮者の実態と支援策」

大阪公立大学大学院生活科学研究科 生活科学専攻 教授 垣田 裕介 氏

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮者へのより一層の支援の強化が求められているなか、市町村に求められる包括的な支援体制のあり方等の事例を交えながら講義された。

6 「地域共生社会の実現に向けて」

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科 特任教授 平野 隆之 氏

人口減少をはじめとする社会構造の変化により地域課題が複雑化する中、誰もが自分らしく暮らしていくために地域共生社会の実現が求められている中、包括的支援体制の構築や地域福祉計画の策定など、地域共生社会の実現に向けた考え方と、市町村に求められる役割について講義された。

7 「意見交換及び発表」

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科 特任教授 平野 隆之 氏

小グループ（15グループ）に分かれ、地域の現状や課題等について意見交換を行い、代表して2グループの発表を行った。
を行い、

研修成果概要：

今回の研修は88名の参加であったが応募者が3倍と多く、当選した者のみの参加であった。

3日間の研修を通じて、ついでに**社会保障・社会福祉の概要**を理解することができた。

今後は、学んだ事項を常任委員会の取り組み等を通じて市政に反映させるべく努めていく。

研修の細部は別添のとおり。